

ちわい



今回の「東日本大震災」で被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。
この災害で亡くなられた多くの方々のご冥福を心よりお祈りするとともに、被災地の
一日も早い復興を祈念いたします。



◆ 「元祖法然上人八百回大遠忌法要の様子」 ◆

◆ 目次 ◆

- 慈光〈第18回〉
- 賢問子行状記②
- お釈迦さまのご生涯 **5**
- 元祖法然上人八百回大遠忌を終えて
- 少年少女参拝団参加者募集

- インド **ドタバタ** 夫婦道中記 ②⑥
- 総本山誓願寺だより
- 何でも“お寺探偵団” Vol.30
無量山 宝蔵寺



慈光 18

「慈光」。万物を育成し世に恵みを与える光。大慈悲の光明。阿弥陀さまの分け隔てのない暖かい優しい光。私たちはこの光を頂き、生かさせていただいております。慈光に照らされた私たちの生活を今一度考えてはどうでしょうか？タイトルの『慈光』は、鈴木皓道先生のお寺本宿町「慈光院」より拝しました。

【常に護念あり】

念佛の生活をする人には、常に佛のお護りがある。これを「常護念」と申します。

しかし、お護りと言っても特別に日常生活に変化があるのではなく、何となく順調に生活が出来ることを指しているのです。

「積善の家には、必ず余慶あり」と教えにある通り、全く知らずの間に心が和むのです。

私の寺の盆施餓鬼法要は、四十五年前より七月三十一日と定め、一度も変更したことはありません。しかし、今年は思惑が外れたのです。五月初旬、檀家の老婆が来た折り。

「お寺の盆施餓鬼は何日かね？」

「毎年七月三十一日だよ。」

「それが、今年のその日には、町内の夏祭りだよ。」

そんな事が？。係の方に尋ねたところ、町内役員の方々に決定されたとの事でした。さあ困ったなあー。

朝九時半より午後三時まで車の出入り、沢山の人々の出入り、祭も施餓鬼も両方とも混雑してしまふ。当日、お手伝いをして下さる十余の人々も、夏祭りに忙しく、お寺の盆施餓鬼どころではない。困ったなあー。

その時、ふと「あーそうか！」檀信徒へ案内状を送付してからは、本当に困るが、印刷の一ヶ月前に、このことが判

ったので、五十年近く続けた日を、一日前の三十日に変更できたのです。夏祭りも盆施餓鬼も両方無理なく出来ます。

このことが、「佛のお護り」と知ったのです。知らして下さった老婆にお礼を言い、事無きを得ました。

起伏変化の激しい日常生活を順序よく出来る、そのものが

佛よりの常々護られた

「常護念」

でありましょう。

布教講習所 所長
慈光院 住職
鈴木 皓道



賢問子行状記

小島英裕

2

第一話
おまえのふじよし
「大江藤好、
かすがのやしろ
春日社に詣でる」(後編)

藤好が大病で亡くなり、妻と賢問子の悲しみは喻えようがありません。野辺の土に埋め七日七日の中陰には数人の僧侶を招き菩提を弔いました。

ある時賢問子は母に「一つお願いがあります。私は父の遺言が忘れられません。出家して僧侶となり父の菩提を弔いたい」と話しました。

母は涙を浮かべ「お前の言うことはよく分かる。でもお前はたった一人の息子。家業の仏師を継ぐ者は他にはいな

い。夫に相談もできず、お前が成人するのをずっと待っていた。出家しなくても菩提は弔えるはず」と聞く耳を持ちません。

「遺言を守っても私が納得しなければ出家しても甲斐はない。他の願い事なら何でも叶えます」と母は涙で袖を濡らしました。「母を裏切れば親不孝になる」と賢問子は思い直し家業に専念しました。

もともと春日大明神より授かった命です。賢問子は次第に優れた技法を身につけ母は大変喜びました。「出家できないのであれば、阿弥陀さまの尊像を作り父の菩提を弔いたい」と一刀三礼して身丈三

尺の阿弥陀如来像を造ることをお願い、父の一周忌の追善供養に間に合うよう昼夜に精を出しました。

一周忌が近づき本尊阿弥陀如来像が出来上がりました。明日の一周忌は数人の僧侶を招く他に例を見ない追善法要です。夜になり、賢問子は新しい阿弥陀如来にお供え物をして一晩中念仏を申して生死の苦しみを離れることを祈りました。

夜も更けまどろみの夢の中に車輪のような蓮華が目の前に見えました。白張装束姿の方がその蓮華の上に見えます。

「あなたは誰ですか」と問うと「朝夕に手を合わせ祈つ



伝賢問子作 裸形阿弥陀如来像
(京都 轉法輪寺所蔵)

ているお前の父である。私は生前の罪により地獄の苦しみを受けていた。ところがお前が誠を尽くし仏を造り私の菩提を弔ってくれたので、阿弥陀さまは光明を私に照してくださった。私は地獄の苦しみを逃れ切利天に生を受けた。これは全てお前が孝行を尽くしたからである。お礼を伝えるためにやって来た」と告げられ、賢問子はハッと驚き近寄ろうとすると夢から覚めました。

賢問子は母に夢のことを語り「阿弥陀さまを拝み、父の菩提、自分の極楽往生を祈り、ひたすらにお念仏をお称えください」と母に勧めました。(つづく)



お十念を授けられる管長猥下

去る四月二十一日から二十五日までの五日間、総本山誓願寺に於いて法然上人の大遠忌を勤めることができました。連日満堂の参詣と宗門全僧侶の出仕によってたいへんな盛儀となりました。また、併せて東日本大震災の犠牲者にこ

元祖法然上人八百回

大遠忌を終えて

浄土宗西山深草派宗務総長 杉浦秀祐

廻向を捧げ、募金箱により義援金を戴きました。

これに先駆けて全国十五ヶ所の末寺に於いて「大遠忌お待ち受け法要」を管長猥下御親修のもとお勤めをいたしました。管長猥下はご高齢の御身ながら全国に足を運ばれ親しく参詣の檀信徒に「真実他力」の教えをさずけられました。全ての会場も満堂の参詣で、一人でも多くの方々に法然上人の真実の念仏の教えを伝えたいという念願がかなったと心より喜んでおります。

梵鐘の新鑄から鐘樓の改築、誓願寺会館の新築、松花苑の造営等の伽藍整備、また『法然上人のご生涯と真実他力の思想』の出版等、記念事業も



余間も満堂の本堂

無障碍に終えることができませんでした。自分たちの力ではなく全てが他力である阿弥陀さまのお計らいによってこの勝縁にあわせていただき、この大事業を円成させていただいたのだと心より感謝をしております。

大遠忌法要は終わりましたが、法然上人ゆかりの念仏道場、総本山誓願寺へお参り頂きますようにお待ちいたしております。

少年少女

参拝団

参加者募集

本年も少年少女参拝団を8月18日(木)、19日(金)の二日間実施することになりました。

小学5、6年生を対象に、京都総本山誓願寺で、写経やお経の練習などの体験をする、厳しさのなかに楽しさもある一泊二日の研修です。

今年度は、体験学習として数珠作りを参加した皆さんにやって頂きます。夏休みの貴重な思い出に、ぜひご参加ください。

詳しくは、各寺院にお問い合わせください。



写経をする子どもたち



人里離れた修行の地

アジャンタ

アジャンタ^{せつくつじいん}石窟寺院群の数キロメートルふもとの茶店で、チャイを頼みタクシーを待っている、日本人らしき青年が上の方から歩いてきたので声をかけた。彼は前夜にこの近くのホテルに泊まり、これからバスで駅まで行き、南インド西海岸のゴアに行こうか考え中だと云うことだった。僕もゴアには行ったが八九年に行ったきりなので、新しい情報を提供できなかった。

石窟寺院行きのタクシーが来たとなんか言うので通りを見ると、それは普通の乗用車ではなく、トヨタのランド・クルーザーのような、つまり昔のジープである。茶店を出て早速、後部座席に乗り込んだのだが、待っていてもなかなか出発する様子がない。どうやら人数が集まり次第出発するとう感じだった。乗車定員などではなく、乗れるだけ

乗せての出発である。だが、幸いにも窮屈な思いをするほどの客は集まらなく、見切り発車したのだった。

十五分ほどで石窟寺院群の下にあるバス停に着き茶店に入り、まずは腹ごしらえすることにした。揚げパンとサラダ、ジュースを買ったのだが、さすがに朝っぱらから揚げパンは重く、利子^{としこ}は一個を食べられず、僕もやはり二個目はつらくて残してしまった。

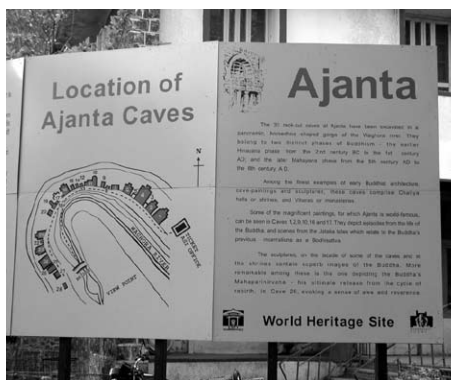
重すぎた朝食をそこそこに、僕たちは一時預かりの所にバッグージを預け、二人分の入場料一〇ドルを払って石窟寺院群に入った。

馬蹄状^{ばていじょう}にカーブしたワグラー川を包むように沿った断崖の中腹には、三十もの仏教だけの石窟寺院が掘られている。中央の五窟は紀元前一世紀ごろ掘られ、礼拝^{らいはい}の対象は釈尊を抽象的に表した土饅頭^{どまんじゅう}や、石柱の形のストウパー^{ストウパー}（卒塔婆^{とば}）で、それらには装飾もほとんどない。それに対し両

側のほとんどは紀元五世紀に掘られ、分かり易い仏像や装飾が刻まれ、岩の壁や天井には細密画がたくさん描かれていて、時代の違いがはっきりしている。

しかし八世紀には戦乱と共に石工の職人も僧侶も去り、寺院群は次第にジャングルに飲み込まれ、千年の眠りに入ったのである。

一八一九年、マドラス（現チェンナイ）に駐屯するイギリスの騎兵隊がトラ狩りに来て、偶然にも発見され再びこの世に脚光を浴び、一九八三年には世界遺産として登録されたのである。



ーアジャンタ石窟寺院群の看板ー

総本山誓願寺だより

新刊のご案内

法然上人のご生涯と
眞実他力の思想

平成新修十六章伝



山西俊享

法然上人伝の画期的新視点！

800年前の乱世の中、民衆に寄り添い、「専修念仏」を掲げて立ち上った法然上人。晩年まで思想を深め続け、「眞実の他力」に至るまでの道のりを描く話題作の登場。

浄土宗西山深草派 元祖法然上人八百年大追善実行委員会

やまにししゅんきょう
山西俊享 著

『法然上人のご生涯と眞実他力の思想 平成新修十六章伝』

著者の山西師は、信谷院（常滑市）のご住職です。法然上人の眞実のお姿を求めて、数多の伝記を通覧し、綿密な検討を経て本書をまとめられました。当時の世相なども詳細に踏まえられており、上人のご生涯と、そのお人柄を理解するための良い手引きとなることでしょう。一般書店にてご注文いただけます。白馬社刊、定価3,000円＋税。

訂正

前々回発行の130号『新年号』に誤りがありました。
5ページ一段13行目
「改めて振り起こさなければ」の
「振り」を「掘り」に訂正してください。

おもな行事予定

八月

●十五日（月）

六阿弥陀功德日

●十六日（火）

精霊送り・盆施餓鬼

●十八日（木）～十九日（金）

少年少女参拝団

九月

●十八日（日）

開山歴代忌・六阿弥陀功德日

●二十日（火）～二十六日（月）

秋彼岸

十月

●八日（土）

六阿弥陀功德日

●十日（祝・月）

策伝忌

十一月

●二十日（日）

総本山西山忌

●二十四日（木）

六阿弥陀功德日

十二月

●二十四日（土）

お身拭式・六阿弥陀功德日

●三十一日（土）

除夜の鐘

クイズコーナー

【問題】

前回より新連載しました「賢問子行状記」の賢問子は何と読むでしょうか？

（ひらがな5文字でお答え下さい）

○○○○○

郵便はがきに、答えと郵便番号、住所、氏名、菩提寺だんな寺、感想や質問を必ず書いて送ってください。その中より紙面に採用させて頂きます。

今回は、宝蔵寺さまよりオリジナル線香を五名、本山謹製線香を五名、合計十名の方に抽選にて差し上げます。ご応募お待ちしております。

【宛先】〒444-1353

岡崎市藤川町字中町南十五番地
稱名寺内 ちかい編集係

【締切】九月三十日

（消印有効）

答え ○○○○
郵便番号
住所
氏名
菩提寺（だんな寺）
感想・質問等

ちかい 第132号

発行日 平成二十三年七月五日
発行所 浄土宗西山深草派
総本山誓願寺

京都市中京区新京極桜之町四五三番地
電話（〇七五）二二二一〇九五八
FAX（〇七五）二二二一〇一九

E-mail info@fukakusa.or.jp
URL http://www.fukakusa.or.jp

何でも

お寺探偵団

宝蔵寺

Vol.30



profile

小島英裕師 (宝蔵寺 第20世) 1967年生まれ(44歳)

佛教大学仏教学科卒業。劇団「小島エイユプロデュース」を旗揚げ、作・演出を手がける。総本山誓願寺本山課長。本誌に『誓願寺縁起物語』(終稿)・『賢問子行状記』を執筆。

今回は京都市裏寺町の「無量山
宝蔵寺」を訪ねました。

Q1

お寺の由来を
教えてください

当宝蔵寺は、文永6年(1269)如輪上人により元西壬生郷に開かれました。現在の京都市下京区「朱雀宝蔵町」辺りと思われます。その後、天正9年(1581)玉阿律師が中興されましたが、秀吉の寺町整備により、現在地である寺町の裏側に当たる裏寺町に移転しました。元治元年(1864)禁門の変・通称「蛤御門の変」により全焼の憂き目に遇いました。現在の本堂は昭和7年(1932)に建立されたものです。ご本尊阿弥陀如来像は、元禄13年(1700)と刻まれています。

【交通】

阪急電車 河原町 徒歩約5分
市バス 四条河原町 徒歩約5分
京阪電車 祇園四条駅 徒歩約10分

【主な行事】

春彼岸法要(3月彼岸中の土曜日)
弁天会大般若転読法要(5月)
秋彼岸法要(9月彼岸中の土曜日)
十夜法要(11月)

【お問い合わせ】

宝蔵寺 〒604-8041
京都市中京区裏寺町通蛸薬師上ル
裏寺町587
TEL. 075-221-2076

Q2

お寺の宝物は
なんですか

宝蔵寺が、近世日本画家の最高峰・伊藤若冲の伊藤家(ますや)の菩提寺としての縁にて、若冲作の掛け軸が数本あります。又、当寺には「日本映画の父」と称される牧野省三のお墓があります。

Q3

伝統芸能に造詣が深い
そうですか

私はかつて劇団を主宰して演劇をやっていました。仏教と芸能の関係は密接で、抑々、芸とは神仏に見てもらうもの、奉納するものと思います。総本山誓願寺の職員になってからは伝統芸能である落語に興味を持ち、地元小学校の六年生に毎年、落語のお話をするようになりました。

Q4

「ちかい」読者に
一言お願い致します

本堂においてのご本尊さまは、問えど返事は下さりません。しかし、微笑みを浮かべ、私達の悩みを聞いて下さいます。心静かに向かい合い、悩みを吐露することで気持ちに余裕が生まれます。その余裕こそが、新たな生きる力の源となります。現在連載中の『賢問子行状記』、また先稿『誓願寺縁起物語』は、誓願寺のご本尊さまの縁起・因縁、さらにそのお導きの話です。登場人物が阿弥陀さまに導かれる様を通して、仏さまと向かい合う事の重要性を感じて頂けたら幸いです。

Q5

「ちかい」読者に
何か頂けませんか

宝蔵寺でお配りするオリジナル線香を五名さまに差し上げます。



◀ 本堂



◀ 新築の山門



◀ 若冲が建立した「ますや源左衛門」墓石



◀ 伊藤若冲作